



旧滝部小学校(現太翔館)



## 東洋の化粧品王

北浦家族旅行⑤

「中山太一」といふし、「東洋の化粧品王」人をご存知だろうか。と呼ばれた人物である。私は今回、北浦を旅する。そういえば幼いころまで知らなかった。ろ、美人画を用いた彼は化粧品会社を創立 ラブ化粧品のポスター

を見た記憶がある。

旧豊浦郡滝部村(現在の下関市豊北町滝部)に十二人兄弟の長男として明治十四年(一八八二)に生まれた。家の生活は苦しく、滝部小学校を卒業すると

民俗資料館として使用されてきた。中山に關する資料もここに展示されていた。(正確に言うると現在の太翔館は平成二十三年に創建当時のままに復元された)

働き始め、二十二歳の時、神戸で中山太陽堂という化粧品会社を創立し「クラブ洗粉」「クラブ歯磨」などを発売して大成功する。のちに大阪商工会議所副会長、貴族院議員を務めた。

母校の滝部小学校が老朽化したのを知ると二人の弟とともにドイツ人に設計させ、二階建てのルネッサンス様式の校舎を改築贈呈した。今から八十八年前の大正十三年(一九二四)のことである。

車の中から長門市に近しい下関市立栗野小学校も見えたが、この建物も二階建ての立派なものだ。滝部小同様、最

今回、その滝部小学校を訪ねたのだが、少子化で閉校され、建物は「太翔館(たいしょうかん)」という名称で、下関市立豊北歴史

中山は滝部の発展に寄与し、小学校のほかに道が悪いと知れば舗装費を寄せ、消防自動車や医院など、滝部のために使った金額は百

億円を超えるという。今回一緒に旅をした次女が中山太一の伝記をコピーして送ってくれた。実は北浦の小、中学校が過疎と少子化の影響で、大きく変化しているという視点で書くつもりだった。しかし中山の資料から、彼がいかにふるさとを大切にしていたかを知り、彼の中心の巡礼の道と

中山ら三兄弟が寄付して建てられた滝部小学校。閉校して自分の業績が展示される場になろうなどは夢にも思わなかっただろう。

中山は滝部の発展に寄与し、小学校のほかに道が悪いと知れば舗装費を寄せ、消防自動車や医院など、滝部のために使った金額は百



旧校庭にあった改築記念碑